

令和5年度学校評価自己評価一覧表（校務分掌、学年団）

目標
=目指す
生徒像

- ① 授業を大切に、向学心に燃える 笠高生
- ② 自分の目標を持ち、その実現を目指す 笠高生
- ③ 部活動で自己を鍛え、互いに切磋琢磨する 笠高生
- ④ マナーや時間を守り、規律のある 笠高生

- ⑤ あいさつや言葉遣いに、気配りできる 笠高生
- ⑥ 清楚な服装・身だしなみの、さわやかな 笠高生
- ⑦ 地域社会に貢献する、意欲と行動力にあふれた 笠高生

A よくできている
B だいたいできている
C 少しできている
D ほとんどできていない

分 掌	目標番号	項 目	目標実現のための具体的方策	評 価		
				10月	2月	総合
総務部	④	防災意識の向上と身の回りの備品を大切にできるようにする	・防災訓練では事前に避難経路を周知徹底し、素早く避難行動がとれるようにする。 ・ロッカーや机、椅子などの備品を大切にすることを通して、規律ある学校生活を送る基礎を身につけさせる。また備品は傷つけることのないように、常に生徒に呼びかける。	B	B	B
教務部	① ④	基礎学力の向上と学習習慣の定着 授業に取り組む姿勢の確立	・基礎学力の向上を目指し、課題等を活用して学習習慣の定着を図る。 ・10分間勉強を充実させることで、生徒の基礎学力向上と落ち着いて学習に取り組む習慣を身につけさせる。 ・ICTの活用も視野に入れ、授業の充実を図ることによって、生徒の興味関心に繋がる分かる学習指導を推進する。 ・授業の始まりのチャイムを守る。 ・出欠状況の把握や保健室利用等の情報の共有に努め、個々の生徒に対して迅速な対応ができるようにする。	B	B	B
人権・同和教育部	⑤⑦	生徒・保護者の人権意識向上 地域との交流	・人権・同和教育LHRにおける学びが生徒の心に残るものとなるように内容を充実・発展させる。 ・人権通信(教職員版)(生徒・保護者版)の発行やPTA新聞への投稿、文化祭での人権展、人権講演会などを通じた啓発に努める。 ・上高野文化センターや上高野児童館における文化祭への参加や交流活動を行い、地域の方々と触れ合うことで人間的なつながりを深めるとともに、社会とのつながりの中で自尊感情の醸成に繋げていく。	B	B	B
特別活動部	③⑦	部活動の活性化 地域社会へ貢献	・学校行事や部活動及びボランティア活動等、生徒が積極的に活動できる環境作りに努める。 ・生徒主体の生徒会を確立する。・全職員で生徒会業務に関わる。 ・笠高生として学校や地域社会に貢献する。	B	B	B
生徒指導部	④⑤⑥	遅刻の減少 携帯電話のマナーを守らせる 基本的な生活習慣を身につけさせる	・遅刻を減らし時間を守れるようにすることで、授業規律を確立する。 ・携帯電話の使用については社会におけるマナーを理解し、マナーを守れる笠高生を目指す。 ・挨拶をはじめ、服装や身だしなみを整えるなど基本的な生活習慣を身につけ、コミュニケーションがとれ、礼儀正しく前向きな笠高生を目指す。	C	C	C
教育相談部	②	自己理解のための支援 課題解決のための援助	・生徒が自分の気持ちや考えを整理して、表現できるように支援していく。 ・学校生活の様々な場面で、生徒が相談しやすい環境作りに努める。 ・担任や関係職員、保護者と連携し、情報共有できるように活動することを心がける。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの専門的知識や経験も活かすことができるように連携の効果的促進を目指す。	B	A	A
進路指導部	②	進路意識の向上(1,2年)と 進路実現(3年)への支援	・1年間の進路指導計画に従い、具体的な将来の目標を持てるように進路意識を高め、進路を明確化できるよう支援する。(1,2年) ・1学期に進路指導関係の行事を集中させて、進路志望先を決定させる。2学期はさらに個に応じた指導・助言により、進路決定に向けての支援をする。(3年)	B	B	B
保健部	②	積極的な健康作りの推進・安全意識の高揚を図る	・日常生活の中で生活リズムを大切にし、基本的な生活習慣を身につけさせる。 ・健康診断を自らの健康状態を知る契機とし、健康への意識を高める。 ・心の健康や性に関する指導を適切な時期に実施する。 ・適切な感染症対策を実施する。	B	B	B
農場部	⑦	農業のスペシャリストとして、地域社会に貢献できる生徒の育成	・各学科の知識・技術の学習を深めながら、専門的な基礎・基本事項の確実な定着を図る。 ・交流活動や地域連携行事等の指導・援助を積極的に行うことで、笠高生としての自尊心を持たせる。	B	B	B
家庭部	②	主体的に学び、専門性を高めるための努力ができる生徒の育成	・授業を大切に、意欲的に知識や技術を身につけるよう取り組ませる。 ・家庭科技術検定や各種コンクールに積極的に取り組み、専門性を高める。 ・家庭科の備品を大切に扱う。	B	B	B
1年団	④⑤⑥	高校生としての自覚を持たせ、周りのことを考えた生活を送らせる	・自ら決められた時間に従って行動し、身だしなみや言葉遣いに気を遣うことができるよう指導する。 ・提出物を締め切りまでにきちんとして出させる。	C	B	B
2年団	②④⑥	マナーや時間など規律を守らせる	・「制服を正しく着る」「遅刻をしない」を重点目標とし、マナーやルールを守ることや時間厳守を常に意識させる。 ・様々な体験をもとに自分の適性や能力を見極めさせ、自分の進路先を決定できるように機会をとらえて指導する。	B	B	B
3年団	②④⑥	進路実現に向けて、自ら努力を するとともに社会性を養う	・自らの希望する進路を実現させるために、基本的な学力を身につける。 ・社会人として周囲から認められる人物になるために、ルールやマナーを守り基本的な生活習慣を確立する。	B	B	B